

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ラボこっしー			
○保護者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月12日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	2026年1月5日 ～ 2026年1月23日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・物理的構造化、時間の構造化、活動の構造化を行っている点。環境・時間・活動の構造化を行う事によって、今すべきことや、これから何があるのかの見通しを持って自立して過ごせる環境が整っている。	・活動に合わせて過ごす場所を変えている。 ・利用者に合わせたスケジュールを提供している。 ・自立課題の際にワークシステムを使用している。	・スタッフが日々構造化について学習し、一人一人に合わせた構造化を行えるようにしていく。 ・利用者の成長に合わせた再構造化を都度行っていく。
2	・日々の支援の中で気になることは、すぐに保護者に連絡を行い、共に支援の方向性を決めている。	・フォーマルアセスメントやインフォーマルアセスメントを基にアセスメントや保護者からの聞き取り、個別支援計画の作成を行っている。 ・利用児の特性だけでなく、保護者が抱える悩みや要望に寄り添う時間を十分に確保し、情報や意向を共有することを徹底している。	・第三者による評価を視野に入れ、提供の質を高める仕組み作りを検討する。
3	・地域の高齢者施設との関わりを持っている。	・同じビルのデイサービスのスタッフの方と連携を取り、避難訓練や地域交流の際に施設を訪問させてもらっている。	・災害時（地震・火災・水害等）や緊急時に備えた合同の避難訓練の実施を検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児が社会の一員として経験を積む機会が少ない。	・地域と事業所が関われる交流の場が少ない。 ・感染症の拡大が懸念される為。	・地域での交流の場の情報を得る。 ・子ども達や事業所を知ってもらう活動を考える。 ・地域交流の時間を長くとする。
2			
3			